

和歌山高専を卒業して大学あるいは大学院に進んだ皆さんへ

和歌山高専はあなたたちを応援しています

皆さん、新天地で、研究生生活に励んでいることと思います。大学あるいは大学院で最先端の技術を学び、身に着けることができる機会を持つことは、自身の成長にとって大変有意義な時であると思います。ぜひ大切に過ごしてください。研究は、山あり谷ありです。現在、谷にはまっついている人もいるかもしれませんが、多くの先人が経験したことです。この経験が自身を強くします。あきらめないで乗り越えてください。当時の私は焦って悪い方に行きました。このような場合、今では、冷静になるためにいったん中断して気分転換を図るのも一つの方法かと思っっています。急がば回れです。

さて、研究生生活が終わると、就職して社会人生活に入ります。そのための活動は、現在、「就活」と呼ばれ、社会現象化しています。特に、就活で勝ち抜くために行う「会社訪問」の忙しさは新聞でよく見かけます。実際、大卒高専OS・OBによるキャリア講演会では、「大卒就活」の大変さを強調しています。

近畿地区での就職を考えている皆さん。実は、和歌山高専出身であることが、就活で勝利するために重要なカギとなっていることを知っていますか。

例えば、和歌山県工業技術センターの技術職員としてこの数年間、和歌山高専出身者が採用されています。和歌山県は、高専生以外でも多くの県外の大学に進んだ人たちが和歌山県に戻ってくることを期待しています。その中でも、高専出身者に対する思い入れは強いように思います。この傾向は、和歌山県のみではなく、京阪神地域の企業にも高専生に対する思いがあるように見えます。これは、高専が誕生して五十年間に卒業した先輩方の実績によるものと思います。

最後に、大学あるいは大学院卒業後、近畿地区での就職を考えている和歌山高専出身者の皆さん。ぜひ、高専のホームページにアクセスしてください。和歌山高専は、あなたたちの就職支援を行っています。

平成二十九年十月吉日

和歌山工業高等専門学校

校長 角田 範義